



パーソナルオーディオ システム

取扱説明書

準備する

CDを聞く

ラジオを聞く

USB機器の曲を聞く

外部入力機器の曲を聞く

BLUETOOTH接続でワイヤレス
で聞く

ウォークマン®や“ポケットビット”
に録音する

その他の設定

使用上のご注意・主な仕様

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故に
なることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示
しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CMT-X3CD



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 電源を切る。
- ② 電源プラグをコンセントから抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指のケガに注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



フラグをコンセントから抜く

⚠ 警告



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない



電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない



上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

内部に水や異物を入れない

本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない



火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。

また、本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないで下さい。本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないで下さい。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない



火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない



本機やアンテナ線、電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

本機を日本国外で使わない



交流100Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない



清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。

ガス管にアンテナ線をつながない



火災や爆発の原因となります。

禁止

⚠ 注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置かない



布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く



ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさらぬようご注意ください。

大音量で長時間つづけて聞かない



耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない



突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。

安定した場所に置く



ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちつけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も充分に確認してください。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する



異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。

コード類は正しく配置する



本機に取り付ける電源コードやAVケーブルは、足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

長期間使わないときは、電源プラグを抜く



長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜くセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く



電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



電池は乳幼児の手の届かない所に置く



電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない、火のそばや直射日光のあるところなど高温の場所で使用・保管・放置しない



破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない



電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない



電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、数時間たってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする



- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

+とーの向きを正しく入れる



+とーを逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す



電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

使用済み電池は家庭ごみとして棄てない



ご使用済みの電池は家庭ごみとして棄てないで、リサイクルボックスに入れてください。

ワイヤレス機能ご使用上のご注意



警告

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する



電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない



電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する



電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- 本機を使用中、万一不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ステレオを聞くときのエチケット



音のエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

CD-DAディスク再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

商標について

- Windows、Windowsロゴ、Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- 本機はMicrosoft Corporationの知的所有権により保護されています。Microsoft またはその認可された子会社の許可なしにこの製品に関わる技術を使用、販売することは禁止されています。
- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴはBLUETOOTH SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ソニーはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

目次

△警告 安全のために.....	2
-----------------	---

準備する

各部の名前と働き	9
リモコンに電池を入れる	13
時計を合わせる	13

CDを聞く

CD-DA/MP3/WMAディスクを再生する	14
再生モードを変える	14
好きな順に曲を聞く	16

ラジオを聞く

ラジオ局を受信する	17
ラジオ局を登録する(プリセット)	17

USB機器の曲を聞く

USB機器の曲を再生する	18
--------------------	----

外部入力機器の曲を聞く

外部入力機器の曲を再生する	20
---------------------	----

BLUETOOTH接続でワイヤレスで聞く

BLUETOOTH機器をペアリングして音楽を聞く	21
登録済みの機器の音楽を聞く	22
ワンタッチで接続して音楽を聞く(NFC)	23

ウォークマン®や“ポケットビット”に録音する

CDやラジオ、外部入力機器からウォークマン®や“ポケットビット”に 録音する	24
CDの曲を録音する	24
ラジオや外部入力機器の曲を録音する	25
録音した曲の保存先について	26
フォルダ名とファイル名について	26
本機で録音した曲を削除する	27

その他の設定

オートスタンバイ機能を設定する	29
BLUETOOTHスタンバイモードを設定する	29
BLUETOOTH信号オン／オフを設定する	29
音質を調整する	30
タイマーを使う(スリープ、再生、ラジオ録音)	30
スリープタイマーを設定する	30
再生タイマー／録音タイマーを設定する	31

使用上のご注意・主な仕様

使用上のご注意	34
対応機器とバージョン	35
ウォークマン®	35
USB機器	36
BLUETOOTH無線技術について	36
BLUETOOTH機器について	38
故障かな？と思ったら	39
メッセージ一覧	44
保証書とアフターサービス	45
主な仕様	46

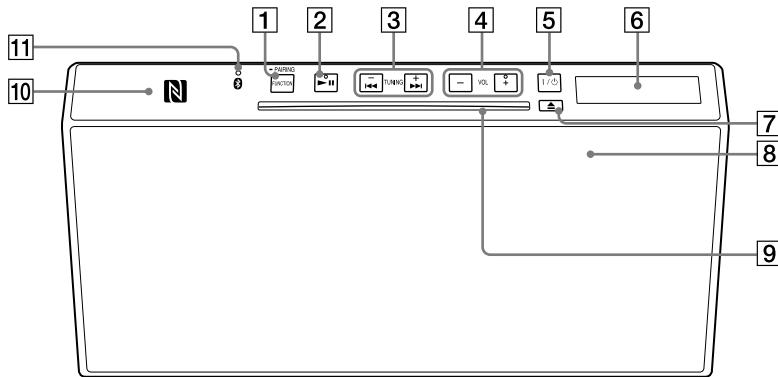
準備する

各部の名前と働き

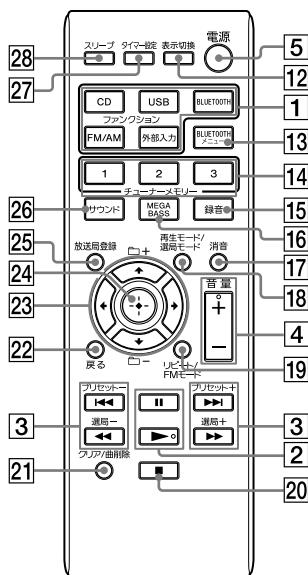
ご注意

本書では、主にリモコンのボタンを使った操作を説明しています。リモコンと同じ名前の本体のボタンは、同じ働きをします。

本体(前面／上面)



リモコン



① ファンクションボタン

本体：FUNCTION（ファンクション） /
PAIRING（ペアリング）ボタン

ボタンを押すたびにCD→USB→
BT AUDIO→FM→AM→AUDIO INの順に
ファンクションが切り換わります。

また、ボタンを5秒間長押ししてBLUETOOTH
機器とペアリングするときに使います。

リモコン：CD、USB、BLUETOOTH、FM/
AM、外部入力ボタン

切り換えるたいファンクションのボタンを押し
ます。

② 再生／一時停止ボタン

本体：▶■ (再生／一時停止)ボタン

リモコン：▶ (再生)、■ (一時停止)ボタ
ン

CD-DAやMP3/WMAディスク、ウォークマ
ン®、USB機器、BLUETOOTH接続した曲を
再生／一時停止します。

③ ラジオ選局／曲操作ボタン

本体：TUNING（選局）+/-、◀◀/▶▶ボ
タン

• TUNING（選局）+/-ボタン

聞きたいラジオ局の周波数や、登録したラ
ジオ局のプリセット番号を選びます。

• ◀◀/▶▶ボタン

曲の頭出しをします。押している間、曲の早
戻しや早送りをします。

リモコン：選局+/-、プリセット+/-、

◀◀/▶▶、◀◀/▶▶ボタン

• 選局+/-ボタン

聞きたいラジオ局の周波数を選びます。

• プリセット+/-ボタン

登録したラジオ局のプリセット番号を選び
ます。

• ◀◀/▶▶ボタン

曲の頭出しをします。

• ◀◀/▶▶ボタン

曲の早戻しや早送りをします。

④ 音量調整

本体：VOL (音量)+/-ボタン

リモコン：音量+/-ボタン

音量を調節します。

⑤ I/O (電源)ボタン

本機の電源を入／切します。

また、本体またはリモコンのI/Oボタン[5]を3
秒間長押しすると、AUTO STANDBY ON（オ
ン）/OFF（オフ）を切り替えることができま
す(29ページ)。

⑥ 表示窓

⑦ ▲ (イジェクト)ボタン

CDを取り出します。

⑧ リモコン受光部

⑨ ディスクスロット

CDをセットします。

⑩ Nマーク

NFCまたはFeliCa機能を搭載したスマート
フォン／タブレットを近づけると、ワンタッ
チでBLUETOOTHの機器登録や接続／解除が
できます(23ページ)。

⑪ BLUETOOTHランプ

BLUETOOTH接続の状態を、点灯と点滅で表
示します。

[12] 表示切換ボタン

電源「入」時に押すと、表示窓[6]に表示される内容を切り替えます。本機で表示されない文字は、アンダースコア(_) が表示されます。電源「切」時に押すと、時計を表示します。

[13] BLUETOOTHメニュー ボタン

BLUETOOTH機器と接続切断やペアリングをするときに使います(21ページ)。

[14] チューナーメモリー ボタン

本機に登録したプリセット番号1から3のラジオ局を呼び出します(17ページ)。

[15] 録音ボタン

CDやラジオ、本機に接続した外部入力機器からの曲をUSB機器に録音します(24ページ)。

[16] MEGA BASS (メガバス) ボタン

メガバス(重低音強調)を「BASS ON」(オン)または「BASS OFF」(オフ)に設定します(30ページ)。

[17] 消音ボタン

音声を消します。もう一度押すと音声が出ます。

[18] 再生モード/選局モード ボタン

• 再生モード ボタン

CD、MP3/WMAディスクの再生モードを選択します(14ページ)。

• 選局モード ボタン

ラジオ局の選局モードを切り替えます(17ページ)。

[19] リピート/FMモード ボタン

• リピート ボタン

曲を繰り返し聞くときに使います(15ページ)。

• FMモード ボタン

FM放送のステレオ受信、モノラル受信を切り替えます(17ページ)。

[20] ■ (停止) ボタン

• CD-DAやMP3/WMAディスク、ウォークマン®、USB機器を接続して再生した曲を停止します。

• “ウォークマン”への録音を停止します。

[21] クリア/曲削除 ボタン

本機でUSB機器に録音した曲やフォルダを削除します(27ページ)。

[22] 戻る ボタン

操作前の状態に戻します。

[23] 操作 ボタン

• ↑/↓/←/→ ボタン

項目を選択したり、設定を変更します。

• □ +/- ボタン

MP3/WMAディスクやUSB機器のフォルダ(アルバム)を選択します。

[24] ⊕(決定) ボタン

操作や設定を確定します。

[25] 放送局登録 ボタン

ラジオ局をプリセット登録します(17ページ)。

[26] サウンド ボタン

お好みに合わせて本機の音質を調整します(30ページ)。

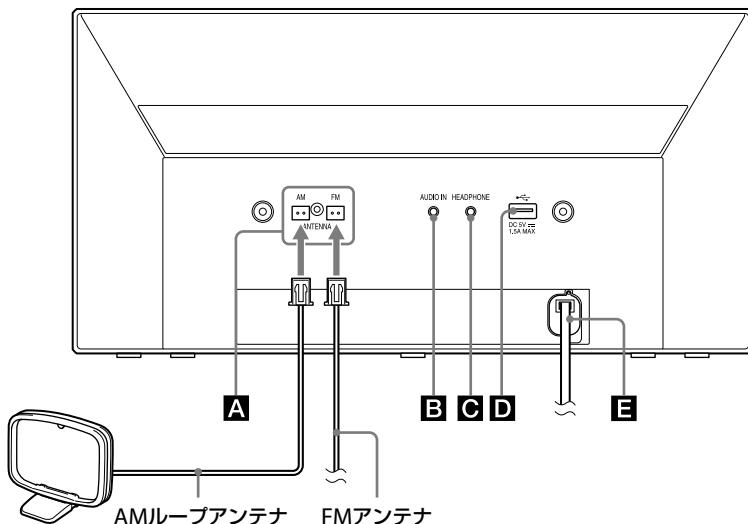
[27] タイマー設定 ボタン

時計、再生タイマーやラジオの録音タイマーを設定します(31ページ)。

[28] スリープ ボタン

スリープタイマーを設定します(30ページ)。

本体(背面)



A AM/FM ANTENNA (AM/FMアンテナ) 端子

AMまたはFMアンテナをつなぎます。

ご注意

- 受信状態の良い場所や方向を探して窓や壁に固定してください。
- 雑音の原因になるため、AMループアンテナは本体や電源コード、他のAV機器から離してください。
- FMアンテナは、先端をテープなどで固定してください。

B AUDIO IN (外部入力)端子

別売りのオーディオケーブルを使って外部入力機器を接続します。

C HEADPHONE (ヘッドホン)端子

ヘッドホンを接続します。

D ⇄(USB)端子

USB機器を接続します(18ページ)。

ご注意

- 本機にはウォークマン®専用の接続端子はありません。以下の場合はウォークマン®をUSB端子Dに接続してください。
 - ウォークマン®を充電するとき

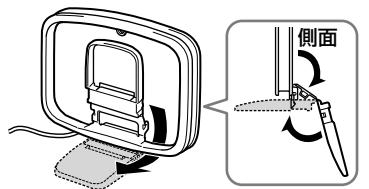
- ウォークマン®に録音するとき
- BLUETOOTH接続以外で、ウォークマン®の曲を再生するとき

E ~ AC IN (AC入力100 V電源)端子

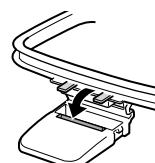
電源コードをコンセントにつなぎます。

AMループアンテナをセットするには

① 台座を図のように倒して折り曲げる。



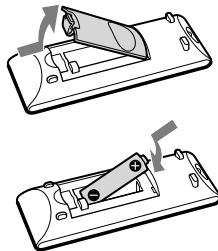
② フレームの突起部を台座の溝にはめ込む。



「カチッ」とはまるまで、
強い力で押し込む

リモコンに電池を入れる

⊕と●の向きを合わせて、リモコンに単3形乾電池(R6、別売)1個を入れます。イラストのように●極側から入れてください。



ご注意

- ・電池は充電しないでください。
- ・液漏れしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- ・リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンで操作できないことがあります。
- ・電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、新しい電池に交換してください。

時計を合わせる

1 電源ボタン⑤を押して、本機の電源を入れる。

2 タイマー設定ボタン⑦を押す。

初めて時計を設定するときは、次に手順4に進んでください。

3 ↑/↓②で「CLOCK」を選び、⊕④を押す。

4 ↑/↓②で「時」を合わせ、⊕④を押す。

5 ↑/↓②で「分」を合わせ、⊕④を押す。
時計の設定が完了します。

ご注意

停電や電源プラグが抜けて電源供給がなくなると、時計設定は解除されます。

電源が「切」のときに時計を確認するには

表示切換ボタン⑫を押して、時計を表示させます。時計は約8秒間表示されます。

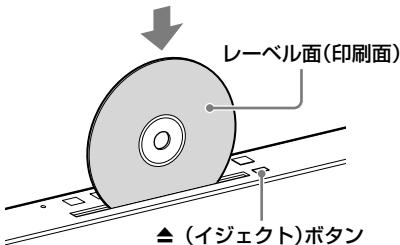
CDを聞く

CD-DA/MP3/WMAディスクを再生する

1 CDファンクションボタン①を押す。

2 上面のディスクスロット⑨にCDを挿入する。

CDのラベル面(印刷面)を手前にしてください。



3 ▶[2]を押す。

CDが入った状態で他のファンクションから「CD」に切り換えた場合は、表示窓⑥の「READING」の表示が消えてから、▶ボタン②を押してください。

リモコンや本体のボタンで、早戻し／早送りや、選曲、フォルダ選択(MP3/WMAディスクの場合)などの操作ができます。

CDを取り出すには

本体の△ボタン⑦を押します。

ちょっと一言

ディスクが出ないようにロックできます。本体のFUNCTIONボタン①とVOL-ボタン④を、同時に5秒間押したままにします。スロットがロックされ、表示窓⑥に「LOCKED」が表示されます。

ロックを解除するには、もう一度同じようにボタンを押します。

ご注意

• 8 cm CDは本機では使用できません。

- 特殊な形状(ハート型、カード型、星型など)のCDをセットしないでください。修復不能な損傷を本機に与えるおそれがあります。
- テープやシールの貼られたCD、接着剤のりが付着したCDなどは、故障するおそれがあるため、本機では使わないでください。
- CDを取り出すときは、記録面に触れないようご注意ください。

再生モードを変える

再生モードを変えると、曲を繰り返し再生したり、並べ換えて再生したりできます。

1 ■[20]を押して再生を停止する。

2 再生モードボタン⑮を繰り返し押して、再生モードを切り替える。

次の再生モードを選べます。

再生モード	再生のしかた
FOLDER (フォルダ再生) *	選択したフォルダ内の曲のみを通常の曲順で再生します。 表示窓⑥に「FLDR」が点灯します。
SHUFFLE (シャッフル再生)	曲をランダムに並べ換えて再生します。 表示窓⑥に「SHUF」が点灯します。
FOLDER SHUF (フォルダシャッフル再生) *	選んだフォルダ内の曲のみを、ランダムに並べ換えて再生します。 表示窓に「FLDRSHUF」が点灯します。
PROGRAM (プログラム再生)	お好みの曲順に並べ換えて再生します。 表示窓⑥に「PROGRAM」が点灯します。詳しくは、「好きな順に曲を聞く(プログラム再生)」(16ページ)をご覧ください。

再生モード	再生のしかた
OFF (ノーマル再生)	通常の曲順で再生します。

* USB機器、MP3/WMAディスク再生時のみ。

「PLS STOP」が表示されたときは

再生中は再生モードの変更はできません。停止してから再生モードを変更してください。

リピート再生をするとき

リピートボタン[19]を繰り返し押して、再生モードを切り替えます。
次の再生モードを選べます。

再生モード	再生のしかた
ONE (1曲リピート再生)	選んだ1曲のみを繰り返し再生します。 表示窓[6]に「REP ONE」が点灯します。
FOLDER (フォルダリピート再生) *	選択したフォルダ内の全曲を繰り返し再生します。 表示窓[6]に「REP FLDR」が点灯します。
ALL (全曲リピート再生)	CDやフォルダ内の全曲を繰り返し再生します。 表示窓[6]に「REP ALL」が点灯します。
OFF (リピート再生オフ)	リピート再生しません。

* USB機器、MP3/WMAディスク再生時のみ。

ご注意

以下の場合、再生モードは自動的にOFF（オフ）になります。

- 電源を「切」にした場合
- ファンクションを変更した場合
- CDを取り出した場合
- USB機器を取り外した場合
- 電源コードを抜いた場合

MP3/WMAディスクについてのご注意

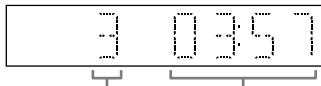
- MP3/WMAディスク作成の際には、不要なフォルダやファイルをMP3/WMAファイルといっしょに記録しないでください。
- MP3/WMAファイルが存在しないフォルダは表示されません。
- 拡張子が「.mp3」または「.wma」のオーディオファイルのみ再生できます。拡張子が「.mp3」または「.wma」でも、MP3/WMA形式のオーディオファイルでない場合は再生できません。このようなファイルの再生は、大音量のノイズや本機の故障の原因となりますので、ご注意ください。
- MP3/WMAディスクに対する本機の上限は次のとおりです。
 - 最大フォルダ数：256*（ルートフォルダ含む）
 - 最大ファイル数：999
 - 1つのフォルダ内で認識可能な最大ファイル数：999
 - 認識可能な最大階層（フォルダ）レベル：8
- * MP3/WMAファイルが存在しないフォルダ、空フォルダも含まれます。フォルダ構成によっては本機で認識できるフォルダ数が少なくなる場合があります。
- 本機は、エンコードソフトウェアや書き込み用ソフトウェア、CD-R/RWドライブ、使用メディアなど、MP3/WMAディスクの作成に必要な機器やソフトウェアのすべてを保証するものではありません。作成したMP3/WMAディスクが本機での再生に適さない場合、ノイズが再生される、再生が途切れ、まったく再生されないなど、不具合が発生するおそれがあります。

好きな順に曲を聞く

(プログラム再生)

CDの曲を、お好みの曲順に並べ換えて再生します。

- 1 「再生モードを変える」(14ページ) の手順2で「PROGRAM」を選ぶ。
- 2 MP3ディスクの場合は、□ +/- [23] を押して、プログラムしたい曲が入ったフォルダを選ぶ。
- 3 ▶◀/▶▶[3]で、プログラムしたい曲を選び、⊕[24]を押す。



選んだ曲番 CD再生時：プログラムした曲（ステップ）の総演奏時間
MP3/WMAディスク再生時：
-- : --

上記の手順を繰り返して、プログラムを行います。

- 4 ►[2]を押す。

プログラム再生が始まります。

ちょっと一言

MP3/WMAディスクの場合は、先に選択した曲のファイル名やタイトルが表示されます。総演奏時間は表示されません。

プログラム再生を中止するには

手順1で「PROGRAM」の代わりに「OFF」を選びます。

プログラムした曲（ステップ）を削除するには

停止中に、クリア/曲削除ボタン[21]を押します。ボタンを押すたびに、最後にプログラムしたステップから削除されます。

ステップをすべて削除すると、「NO STEP」が表示されます。

ちょっと一言

- 64ステップまでプログラムできます。それ以上のステップをプログラムしようとすると、「FULL」が表示されます。不要なステップを削除してください。

- プログラム再生後、同じプログラムを再生するには、►ボタン[2]を押してください。

ご注意

以下の場合、再生モードは自動的にOFF（オフ）になります。

- 電源を「切」にした場合
- ファンクションを変更した場合
- CDを取り出した場合
- USB機器を取り外した場合
- 電源コードを抜いた場合

ラジオを聞く

ラジオ局を受信する

1 FM/AMファンクションボタン**①**を押して、「FM」(FM放送)、または、「AM」(AM放送)を選ぶ。

2 選局モードボタン**⑯**を繰り返し押して、「AUTO」を選ぶ。

ボタンを押すたびに「AUTO」→「MANUAL」→「PRESET」の順に選局モードが切り替わります。

3 選局+/-ボタン**③**を押す。

表示窓**⑥**の周波数表示の数字が動き始めます。

ラジオ局を受信すると自動的に止まります(オートチューニング)。

手動で選局するには (マニュアルチューニング)

選局モードボタン**⑯**を繰り返し押して、「MANUAL」を表示させ、選局+/-ボタン**③**を繰り返し押して聞きたいラジオ局の周波数に合わせます。

ちょっと一言

FMステレオ放送の受信中に雑音が多いときは、FMモードボタン**⑯**を繰り返し押して「MONO」を選択し、モノラル受信に切り換えてください。雑音を低減できます。

ラジオ局を登録する (プリセット)

お好みのラジオ局を登録しておくことができます。

1 受信中に放送局登録ボタン**㉕**を押す。

2 プリセット+/-ボタン**③**を繰り返し押して、プリセット番号を選ぶ。

チューナーメモリー(1/2/3)ボタン**⑭**または↑/↓/←/→**㉓**でもプリセット番号を選択できます。

3 ⊕**㉔**を押す。



表示窓**⑥**に「COMPLETE」が表示され、選んだ番号にラジオ局が登録されます。上記の手順を繰り返して、他の放送局を登録してください。

ちょっと一言

- FM放送は20局まで、AM放送は10局まで登録することができます。
- 手順2で登録済みの番号を選んだときは、受信中のラジオ局の登録に入れ換わります。
- 登録を中止するには、放送局登録ボタン**㉕**か■**㉚**を押します。

登録したラジオ局を聞くには

プリセット番号1～3に登録したラジオ局は、FM/AMファンクションボタン**①**を押して放送を受信中の状態で、チューナーメモリー(1/2/3)ボタン**⑭**を押してください。

プリセット番号4以降に登録したラジオ局は、選局モードボタン**⑯**を繰り返し押して「PRESET」を表示させ、プリセット+/-ボタン**③**または↑/↓/←/→**㉓**を押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選びます。

USB機器の曲を聞く

USB機器の曲を再生する

ウォークマン®や“ポケットビット”などのUSB機器を本機につないで、USB機器に保存されている曲を本機で聞くことができます。

対応するUSB機器について詳しくは、「対応機器とバージョン」(35ページ)をご覧ください。

1 USBファンクションボタン①を押す。

2 本機背面の←(USB)端子②にUSB機器をつなぐ。

USB機器を直接接続するか、USB機器に付属のケーブルで接続してください。表示窓の「SEARCH」の表示が消えるまでお待ちください。

3 ►②を押す。

再生が始まります。

リモコンや本体のボタンで、早戻し／早送りや、選曲、フォルダ選択などの操作ができます。

ちょっと一言

- USB機器の再生でも、再生モードを選べます。再生モードボタン⑯を押して再生モードを選びます。リピート再生の場合は、リピートボタン⑯を押してリピート再生モードを選びます。詳しくは、「再生モードを変える」(14ページ)をご覧ください。

- USB機器を本機につなぐと、自動的に充電を開始します。USB機器が充電されない場合は、USB機器を取りはずして、再度接続してください。USB機器によっては充電ができない場合があります。USB機器の充電状態について詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機での再生順序は、接続されたデジタル音楽プレーヤーの再生順序とは異なる場合があります。
 - USB機器を取りはずすときは、本機の電源を切ってください。電源が入っている状態でUSB機器を取りはずすと、USB機器に保存されているデータが破損することがあります。
 - USBケーブルの接続が必要な場合は、接続するUSB機器に付属されているUSBケーブルを使用してください。接続のしかたについて詳しくは、USB機器に付属されている取扱説明書をご覧ください。
 - USB機器によっては、接続後「SEARCH」が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
 - USBハブを介して、本機とUSB機器を接続しないでください。
 - USB機器が接続されると、本機はUSB機器に保存されているすべてのファイルの読み込みを開始します。USB機器に保存されているフォルダやファイル数が多いと、読み終えるまでに時間がかかることがあります。
 - 接続したUSB機器によっては、操作に対する反応が遅くなる場合があります。
 - 本機は、エンコードソフトウェアや書き込み用ソフトウェアとの互換性についてすべてを保証するものではありません。USB機器内に保存されているオーディオファイルが元々互換性のないソフトウェアでエンコードされている場合、ノイズが発生する、再生が途切れる、まったく再生されないなど不具合が発生するおそれがあります。
 - USB機器に対する本機の上限は次のとおりです。
 - 最大フォルダ数：256*（ルートフォルダ含む）
 - 最大ファイル数：999
 - 1つのフォルダ内で認識可能な最大ファイル数：999
 - 認識可能な最大階層（フォルダ）レベル：8
- * 再生可能なオーディオファイルが存在しないフォルダ、空フォルダも含まれます。フォルダ構成によっては本機で認識でき

るフォルダ数が少なくなる場合があります。

- 本機は、接続したUSB機器側で提供されるすべての機能をサポートしていません。
- オーディオファイルが含まれないフォルダは認識しません。
- 本機で再生できるオーディオ形式は、次のとおりです。
 - MP3：ファイル拡張子「.mp3」
 - WMA**：ファイル拡張子「.wma」

上記の拡張子であっても、拡張子と実際のファイルが異なる場合は、ノイズや不具合が発生するおそれがあります。

**DRM（デジタル著作権保護）が付加されているファイルや、音楽配信サイトなどで購入した音楽データは著作権保護されているため本機では再生できません。著作権保護されている曲やファイルを再生しようとした場合は、本機は著作権保護されていない次の曲／ファイルを再生します。

x-アプリで転送した曲は、本機で再生できません。

外部入力機器の曲を聞く

外部入力機器の曲を再生する

外部入力機器を本機につないで、外部入力機器の曲を本機で聞くことができます。

ご注意

あらかじめ、音量+ボタン④を押して、音量を下げてください。

- 1 外部入力ファンクションボタン①を押す。
- 2 本機背面のAUDIO IN（外部入力）端子Bに外部入力機器の出力端子をつなぐ。
- 3 外部入力機器を再生する。
再生が始まったら、外部入力機器側の音量を調節してください。
- 4 音量+/-ボタン④を押して、音量を調節する。

ご注意

外部入力機器の音量が小さすぎると、本機のオートスタンバイ機能によって自動的にスタンバイモードに移行します。詳しくは、「オートスタンバイ機能を設定する」（29ページ）をご覧ください。

BLUETOOTH接続でワイヤレスで聞く

BLUETOOTH機器をペアリングして音楽を聞く

BLUETOOTH機器に保存された曲をワイヤレスで楽しめます。はじめに、BLUETOOTH機器を本機に登録(ペアリング)します。

ご注意

- 本機とBLUETOOTH機器を1 m以内に置いてください。
- お使いのBLUETOOTH機器がワンタッチ接続(NFC)に対応している場合は、次の手順を行う必要はありません。「ワンタッチで接続して音楽を聞く(NFC)」(23ページ)をご覧ください。

1 BLUETOOTHメニューボタン¹³を押す。

本機にペアリング情報がない場合は、自動的に本機とペアリングされます。
本体で操作も可能です。「本体でペアリング操作をするには」(21ページ)をご覧ください。

2 ↑/↓²³で「PAIRING」を選び、⊕²⁴を押す。

本機がペアリングモードになり、⁸(BLUETOOTH)ランプ¹¹が早く点滅します。

3 BLUETOOTH機器側で本機を検索する。

BLUETOOTH機器の画面に、検出した機器の一覧が表示されます。

4 「SONY:CMT-X3CD」(本機)を選ぶ。

BLUETOOTH機器の画面でパスコードの入力を要求された場合は、「0000」を入力してください。

本機が表示されない場合は、もう一度手順1から操作してください。

ペアリングが完了すると、自動的にBLUETOOTH接続を開始します。表示窓⁶に「BT AUDIO」が表示され、⁸(BLUETOOTH)ランプ¹¹が点灯します。5分以内にペアリングを完了しないと、ペアリングモードが解除されます。その場合は手順1から操作してください。

5 ►²を押す。

再生が始まります。

BLUETOOTH機器によっては、►ボタン²をもう一度押してください。また、BLUETOOTH機器でミュージックプレーヤーの起動が必要な場合があります。

6 音量+/-ボタン⁴で音量を調整する。

調整できない場合は、BLUETOOTH機器で調整してください。

本体でペアリング操作をするには

1 本体のFUNCTIONボタン¹を繰り返し押して「BT AUDIO」を選ぶ。

2 ⁸(BLUETOOTH)ランプ¹¹が早い点滅になるまで、FUNCTIONボタン¹を長押しする。

本機がペアリングモードになり、⁸(BLUETOOTH)ランプ¹¹が早く点滅します。

手順3以降はリモコンの操作と同じになります。

ちょっと一言

BLUETOOTH接続中でも、他のBLUETOOTH機器とのペアリングを行うことができます。

ご注意

- 一部のBLUETOOTH機器では、上記の操作に対応していない場合があります。また、機器によっては、実際の動作は異なります。
- 一度ペアリングを行った機器は、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されたとき

- 9台以上の機器をペアリングしたとき
本機は8台までの機器をペアリングできます。9台目のペアリングを行うと、接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が削除されます。
 - 接続相手の機器から、本機との接続履歴が削除されたとき
 - 本機を初期化したり、本機で接続履歴を削除したりしたとき
この場合は、すべてのペアリング情報が消去されます。
- 本機で再生する音楽をBLUETOOTHスピーカーに送信して聞くことはできません。
 - パスコードは、パスキード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。
 - BLUETOOTH接続中は、他のBLUETOOTH機器と接続はできません。接続する場合は、先に接続を解除してから他のBLUETOOTH機器と接続を行ってください。
 - SBCコーデックのみ対応です。

ペアリングを解除するには

BLUETOOTHメニューボタン[13]またはBLUETOOTHファンクションボタン[1]を押すか、いずれかのファンクションボタン[1]を押してファンクションを切り替えてください。

ちょっと一言

本機にペアリングの履歴がない場合は、ペアリング状態を解除できません。

BLUETOOTH接続を切断するには

BLUETOOTHメニューボタン[13]を押し、**↑/↓[23]**で「DISCONNECT」を選択し、**④ボタン[24]**を押します。

ちょっと一言

BLUETOOTH機器側からも、接続を切断することができます。

ペアリング情報を削除するには

- 1 BLUETOOTHファンクションボタン[1]を押す。

- 2 本体のFUNCTIONボタン[1]と▲[7]を、「RESET」が表示窓[6]に表示されるまで長押しする。

ご注意

ペアリング情報を削除した場合、再びペアリングを行わないとBLUETOOTH接続はできません。

登録済みの機器の音楽を聞く

「BLUETOOTH機器をペアリングして音楽を聞く」(21ページ)の手順1の後で、BLUETOOTH機器を操作して本機と接続し、▶ボタン[2]を押して再生を開始してください。

ワンタッチで接続して音楽を聞く(NFC)

NFCとは、携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。

NFC対応スマートフォン／タブレットを本機にタッチするだけで、自動的に本機の電源が入り、機器登録(ペアリング)、BLUETOOTH接続が行われます。あらかじめ、スマートフォン／タブレットのNFC機能をオンにしてください。

1 スマートフォン／タブレットを本機のNマーク^⑩にタッチする。

スマートフォン／タブレットが反応するまでタッチし続けてください。

スマートフォン／タブレット側のタッチ位置については、お使いのスマートフォン／タブレットの取扱説明書をご覧ください。

2 接続が完了したら、▶ [2]を押す。

再生が始まります。

接続を切断するには、スマートフォン／タブレットで本機のNマーク^⑩にもう一度タッチします。

ちょっと一言

- NFC機能かFelica機能を搭載したスマートフォン／タブレット(対応OS:Android 2.3.3以降、Android 3.xを除く)が対応しています。詳しくは、下記をご覧ください。
<http://www.sony.jp/support/netjuke/>
- スマートフォン／タブレットを本機にタッチしても反応しない場合は、スマートフォン／タブレットに「NFC簡単接続」をダウンロードして起動し、もう一度タッチしてください。「NFC簡単接続」はAndroid™専用の無料のアプリです。次の二次元コードを読み取ってアクセスしてください。



- 本機とのBLUETOOTH接続時に、他のNFC対応スマートフォン／タブレットを本機にタッチすると、タッチしたスマートフォン／タブレットとの接続に切り換わります。
- CDやUSB機器を読み込み中にNマーク^⑩にタッチした場合、BLUETOOTH接続に失敗することがあります。
- 本機の電源が入っていないときにタッチして電源が入り、BLUETOOTH接続された場合、曲の初めが聞こえないことがあります。その場合は、◀◀ [3]を押して曲を巻き戻すか、本機の電源を入れ直してから再度タッチしてください。

ウォークマン®や“ポケットビット”に録音する

CDやラジオ、外部入力機器からウォークマン®や“ポケットビット”に録音する

本機の操作のみでUSB機器(ウォークマン®や“ポケットビット”(USBメモリー))に録音できます。

ちょっと一言

動作確認済みのUSB機器(ウォークマン®や“ポケットビット”)について詳しくは、「対応機器とバージョン」(35ページ)をご覧ください。

最新の対応機種については、下記ホームページの機種別サポートをご覧ください。
<http://www.sony.jp/support/netjuke/>

ご注意

- ウォークマン®に録音する場合は、あらかじめ、ウォークマン®のHOLD機能を解除してください。詳しくは、ウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。
- 本機にウォークマン®を接続するときは、「データベース作成中」の表示がウォークマン®の表示窓から消えていることを確認してください。
- 録音中や削除中に、本機からUSB機器をはずさないでください。USB機器のデータが破損したり、USB機器が故障するおそれがあります。
- 次のケースでは、録音ができません。
 - 録音の対象フォルダ内に、すでに999を超えるファイルが存在する場合
 - CD録音時、すでにCDDA001～CDDA999のフォルダが存在する場合これらファイル数、フォルダ数の上限は、USB機器の階層構造の状態によって異なります。そのため、不要なフォルダやファイルはUSB機器に保存しないでください。

- 次のケースでは、録音した曲が読めません。
 - フォルダ数が256を超えた場合、超えた数のフォルダが読めなくなる。
 - 最大フォルダ数256内で、認識可能な「.mp3」または「.wma」ファイル数が999を超えた場合、超えた数のファイルが読めなくなる。

CDの曲を録音する

以下は、CD-DAディスク1枚をそのまま録音するときの手順です(REC ALLモード)。1曲だけ録音(REC1モード)する場合は、手順3をご覧のうえ、操作を変更してください。

1 本機背面の←(USB)端子[D]にUSB機器を接続する。

ウォークマン®をつなぐときは、ウォークマン®に付属のUSBケーブルをお使いください。

2 CDファンクションボタン[1]を押す。

3 本機にCDを挿入する。

REC 1モード：1曲だけ録音したいときは、手順4の前に録音したい曲をリモコンの▶ボタン[2]を押すか、または本体の▶▶ボタン[2]を1回押して再生してください。

4 録音ボタン[15]を押す。

「READY」が点灯します。

5 ⊕[24]を押す。

しばらくすると「USB REC」と選択した曲番と演奏時間が交替で表示され、録音が始まります。終了すると「COMPLETE」が表示されます。

録音を途中で止めるには

- ボタン[20]を押してください。
- 表示窓[6]に「COMPLETE」が表示されます。

MP3/WMAディスクを録音するには

手順4の前に、録音したいフォルダを□+/-ボタン[23]で選び、⊕ボタン[24]を押してください。再生中に手順4を行うとREC1モードになり、再生中に■ボタン[20]を押して停止してから、手順4を行うとREC FOLDERモードになります。手順5で⊕ボタン[24]を押すと、「USB REC」が表示され録音が始まります。MP3/WMAディスクはREC ALLモードに対応していません。REC FOLDERモードでフォルダ録音を繰り返してください。

ちょっと一言

- 録音した曲の保存先については、「録音した曲の保存先について」(26ページ)をご覧ください。
- 録音した曲はMP3形式で保存されます。
- CD-DAディスクから録音するのに必要なUSB機器の空き容量は約1MBです。
MP3/WMAディスクから録音する場合は、より多くの空き容量が必要となることがあります。詳しくは、お使いのUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- CD-DAディスクから録音した場合、タイトルは付きません。ファイル名に通し番号が付きます。詳しくは「フォルダ名とファイル名について」(26ページ)をご覧ください。
- 録音中は、高速録音モードとなり音は再生されません。

ラジオや外部入力機器の曲を録音する

1 本機背面の←(USB)端子[D]にUSB機器を接続する。

ウォークマン®をつなぐときは、ウォークマン®に付属のUSBケーブルをお使いください。

2 音源を準備する。

FM/AMラジオ：FM/AMファンクションボタン[1]を押して、「FM」または「AM」を選び、ラジオ局を受信します。
外部入力機器：外部入力ファンクションボタン[1]を押して、外部入力機器を本機のAUDIO IN端子[B]につないで、再生の準備をします。

3 録音ボタン[15]を押す。

表示窓[6]に「CHECKING」が表示された後、「READY」が点灯し、本機が録音待機状態になります。

4 ⊕[24]を押す。

表示窓[6]に次のように表示され、録音が始まります。

FM/AMラジオを録音する場合：「USB REC」と「ラジオ周波数」が交替で表示
外部入力機器を録音する場合：「USB REC」と「AUDIO IN」が交替で表示

外部入力機器を録音する場合は、録音と同時に再生を開始してください。

録音を途中で止めるには

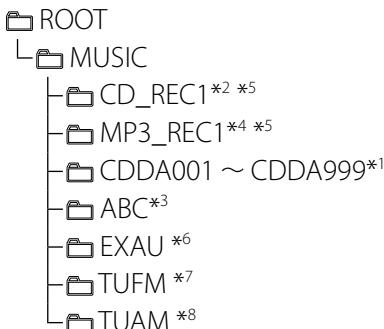
■ボタン[20]を押してください。
表示窓[6]に「COMPLETE」が表示されます。

ご注意

- USB機器に保存されている曲やファイル数が多い場合、本機の録音ボタン[15]を押して、「CHECKING」から「READY」が表示されるまで時間がかかります(手順3)。ラジオなどを録音する場合は、余裕をもって「READY」を表示させてから⊕ボタン[24]を押し、「USB REC」を表示させておいてください(手順4)。
- 本機に対応していないUSB機器を接続した場合、「NO USB」が表示されます。
- レコードプレーヤーを外部入力機器として接続することはできません。

録音した曲の保存先について

本機で録音した曲は、USB機器(ウォークマン®や“ポケットビット”)の「ROOT(ルート)」フォルダの中の「MUSIC(ミュージック)」フォルダに保存されます。音源の種類や録音モードによって以下のように保存されます。



*¹ CD-DAディスクから録音したアルバム

*² CD-DAディスクから録音した曲

*³ MP3/WMAディスクから録音したフォルダ(音源と同じフォルダ名を表示)

*⁴ MP3/WMAディスクから録音したファイル(音源と同じファイル名を表示)

*⁵ REC1モードで録音した曲を保存

*⁶ 外部入力から録音した曲を保存

*⁷ FMラジオから録音した曲を保存

*⁸ AMラジオから録音した曲を保存

ちょっと一言

CD-DAディスクから録音した場合など、アルバム情報やアーティスト情報がない録音データは、ウォークマン®の「アルバム」や「アーティスト」などでは「不明」に分類されます。

フォルダ名とファイル名について

USB機器(ウォークマン®や“ポケットビット”)へ録音すると、USB機器内の「MUSIC(ミュージック)」フォルダには以下の命名ルールに従ってフォルダとMP3ファイルが生成されます。

REC ALLモード時

音源	フォルダ名	ファイル名
CD-DA	CDDA001 ^{*2}	TRACK001 ^{*3}

REC FOLDERモード時

音源	フォルダ名	ファイル名
MP3/WMA	音源と同じ ^{*1}	

REC1モード時

音源	フォルダ名	ファイル名
MP3/WMA	MP3_REC1 ^{*4}	音源と同じ ^{*1}
CD-DA	CD_REC1 ^{*4}	TRACK001 ^{*3}

FM/AMラジオ、外部入力からの録音

録音ソース	フォルダ名	ファイル名
外部入力	EXAU	
FM	TUFM	TRACK001 ^{*3}
AM	TUAM	

*¹ ファイル名、フォルダ名は最大60文字まで表示されます。

*² フォルダ番号が連番で割り振られます(最大999(「ROOT」フォルダおよび「MUSIC」フォルダ含む))。

*³ ファイル番号が連番で割り振られます。

*⁴ 最初にREC1モードで録音を実行したときにCD-DAディスクは「CD_REC1」、MP3/WMAディスクは「MP3_REC1」フォルダが生成されます。以後、REC1モードで録音を行うと、ディスクの種類に合わせて常に「CD_REC1」、「MP3_REC1」フォルダ内に録音した曲が保存されます。

ご注意

- パソコンを使って、曲名やファイル名などの文字編集することができます。

- USB機器がデータベースの更新中のときは、更新が終わるまで本機に接続しないでください。
- 認識できるフォルダの数は、ROOT、MUSIC、空フォルダなどデバイス内のすべてのフォルダを含めて、256までです。
- 録音時はノーマル再生順になるため、再生モードは無効になります。
- CDファンクションからの録音中は、高速録音モードとなり、音は聞けません。
- CD-TEXT情報を持つCD-DAトラックが音源の場合、録音後のMP3ファイルにCD-TEXT情報は含まれません。
- CD-DA、MP3/WMAディスクからの録音を途中で止めると、曲の途中まで録音された不完全なファイルが生成されます。
- 次のような条件下では、録音は自動的に停止します。
 - 180分経過した。
 - 録音中にUSB機器の空き容量がなくなつた。
 - USB機器に録音できるフォルダ数または曲数が本機の仕様の上限に達した。
- 録音時にUSB機器に同名のフォルダやファイルが存在するときは、生成時のフォルダまたはファイルの名前の最後に、連番が追加されます。このため、もともとあったフォルダやファイルが上書きされることはありません。

本機で録音した曲を削除する

本機でUSB機器(ウォークマン®や“ポケットビット”)に録音した曲やフォルダを、本機を使って削除できます。

1 本機背面の～(USB)端子[D]にUSB機器を接続する。

ウォークマン®をつなぐときは、ウォークマン®に付属のUSBケーブルをお使いください。

2 USBファンクションボタン[1]を押す。

3 ▶◀/▶▶[3]または□+/-[2]を繰り返し押して削除したい曲やフォルダを選び、▶[2]を押して再生する。

操作は、■[2]を押して一時停止中でも可能です。

4 クリア/曲削除ボタン[2]を押す。

表示窓[6]に「ERASE」が表示されます。

5 ⊕[24]を押す。

表示窓[6]に「FOLDER」が点滅します。

フォルダを削除するとき：

手順6に進んでください。

曲を削除するとき：

↑または↓[23]を押します。「FILE」が点滅します。

6 ⊕[24]を押す。

表示窓[6]に「ERASE??」が点滅します。選び直すときは、クリア／曲削除ボタン[2]を押して、前の画面に戻ってください。

7 ⊕[24]を押す。

表示窓[6]に「ERASING」が表示され、削除を開始します。完了すると「COMPLETE」が表示されます。削除を続けるときは、手順4から繰り返してください。

ちょっと一言

- クリア/曲削除ボタン[21]を押すと、削除の操作を取り消すことができます。手順7で④ボタン[24]を押した後は取り消せませんので、ご注意ください。
- 本機で録音した曲やフォルダのほかに、パソコンからUSB機器にドラッグアンドドロップで転送した曲も削除できます。本機で再生できるオーディオ形式のファイルのみ削除できます。
- 本機で削除するときに認識できるファイルとフォルダの総数は、ファイル数999、フォルダ数256までです。1つのフォルダ内で認識できるファイル数は999までです。
USB機器に1000以上のファイル、257以上のフォルダが保存されている場合、本機が認識できる数以上のファイル、フォルダは表示窓[6]に表示されません。
USB機器のファイルやフォルダを削除するときに、表示されないファイル、フォルダがある場合は、ファイル、フォルダ数が上限数を超えていないか確認してください。
- 本機で削除できない曲やフォルダは、パソコンを使用して削除してください。詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本機で録音した曲の保存先やファイル名については、「録音した曲の保存先について」(26ページ)をご覧ください。

ご注意

いったん削除した曲やフォルダは、元に戻すことができません。削除するときは、充分注意して行ってください。

その他の設定

オートスタンバイ機能を設定する

無操作または無音の状態が約15分経過すると、本機は自動的にスタンバイモードに移行します(オートスタンバイ機能)。お買い上げ時はオンに設定されています。

- 1 電源ボタン[5]を押して、本機の電源を入れる。
- 2 電源ボタン[5]を約3秒以上押す。
「AUTO STANDBY ON」が表示されオンになります。
オフにする場合は、もう一度同じように電源ボタン[5]を押してください。
「AUTO STANDBY OFF」が表示されオフになります。

ちょっと一言

本機がスタンバイモードに移行するときに、表示窓[6]に「STANDBY」が8回点滅します。

ご注意

- オートスタンバイ機能をオンに設定しても、以下の場合はスタンバイモードへ移行しません。
 - FM、AMファンクションを使っているとき
 - 音声信号を検出したとき
 - 曲を再生しているとき
 - 再生／録音タイマーまたはスリープタイマー開始のための処理が始まったとき
- オートスタンバイ機能をオンに設定した状態で次の操作を行うと、オートスタンバイモードへ移行するまでの時間(約15分)をリセットして再カウントします。
 - USBファンクションでUSB機器を接続したとき
 - 本体またはリモコンの操作ボタンを押したとき

BLUETOOTHスタンバイモードを設定する

本機の電源が入っていない状態でも、BLUETOOTHの接続待ち状態にすることができます。お買い上げ時はオフに設定されています。

- 1 BLUETOOTHメニューボタン[13]を押す。
- 2 ↑/↓[23]で「BT:STBY」を選び、⊕[24]を押す。
- 3 ↑/↓[23]で「ON」(オン)、または、「OFF」(オフ)を選び、⊕[24]を押す。
- 4 電源ボタン[5]を押して、本機の電源を切る。

ちょっと一言

本機能をオンに設定しておくと、BLUETOOTH機器から本機に接続を行ったときに、自動的に本機の電源が入り、BLUETOOTH接続で音楽を聞くことができます。

ご注意

本機にペアリング情報がない場合は、本機能はご使用になれません。ご使用になるには、あらかじめ本機とペアリングしたBLUETOOTH機器と接続しておく必要があります。

BLUETOOTH信号オン／オフを設定する

本機の電源が入っているときに、BLUETOOTH信号を制御することができます。お買い上げ時は、オンに設定されています。

- 1 本機の電源を入れる。
- 2 本体の▶/II[2]とVOL+ボタン[4]を5秒間押し続ける。

- 3 「BT OFF」(BLUETOOTH信号オフ)
または「BT ON」(BLUETOOTH信号
オン)が表示されたら指を離す。

ちょっと一言

- 本機能をオフに設定すると、BLUETOOTH機能は使用できません。
- 本機能がオフのときに、NFC機能でスマートフォン／タブレットを本機にタッチすると、本機の電源が入り、本機能はオンになります。
- 本機能がオフのときは、BLUETOOTHスタンバイモードをオンにすることはできません。
- 本機能がオフのときは、本機とBLUETOOTH機器をペアリングすることはできません。

音質を調整する

お好みに合わせてメガバス(重低音強調)やサウンド効果を設定します。

サウンド効果を設定する

サウンドボタン²⁶を繰り返し押して、次の項目からお好みのサウンドを選びます。

「R AND B/HIP HOP」「FLAT」「ROCK」「POP」「JAZZ」「CLASSIC」

メガバスを設定する

MEGA BASSボタン¹⁶を押すたびに、「BASS ON」(オン)と「BASS OFF」(オフ)を切り替えられます。

ちょっと一言

お買い上げ時は、「BASS ON」(オン)に設定されています。

タイマーを使う(スリープ、再生、ラジオ録音)

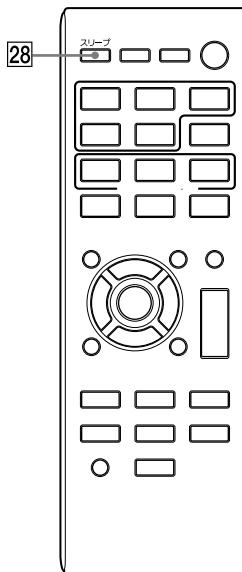
スリープタイマー、再生タイマー、録音タイマーの3種類のタイマーを設定できます。

ご注意

- 再生タイマーや録音タイマーが働いているときにスリープタイマーを使うと、スリープタイマーが優先されます。
- 再生タイマーと録音タイマーを同時に設定することはできません。

スリープタイマーを設定する

指定した時間が経過すると、自動的に本機の電源が切れます。



- 1 スリープボタン²⁸を繰り返し押してスリープさせる時間を選ぶ。

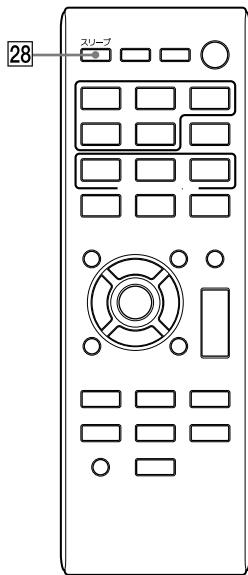
「SLEEP 10」(10分)から「SLEEP 90」(90分)まで、10分刻みで選べます。

「AUTO」を選択した場合は、CDまたはUSB機器の再生が終了すると電源が切れます。

ちょっと一言

- スリープタイマー実行中に残り時間を確認するには、スリープボタン²⁸を押してください。
- スリープタイマーは、本機の時計を合わせていない状態でも使用できます。

スリープタイマーを解除するには



- スリープボタン²⁸を繰り返し押して「OFF」を選ぶ。
スリープタイマーが解除になります。

再生タイマー／録音タイマーを設定する

ご注意

タイマーを設定する前に、本機の時計を合わせてください(13ページ)。

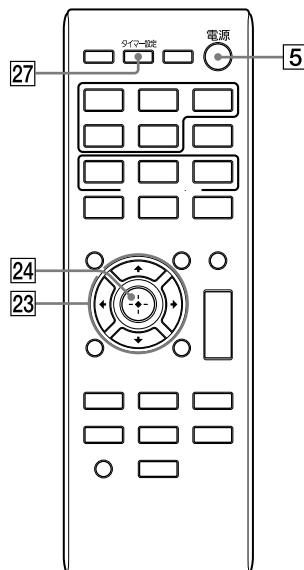
再生タイマー

指定した時間に、CDやUSB機器を自動的に再生したり、ラジオを聞いたりできます。

録音タイマー

指定した時間から、自動的にラジオを録音できます。録音を行うと、設定は解除されます。

あらかじめ選局してください。詳しくは、「ラジオ局を受信する」をご覧ください(17ページ)。



- 音源を準備する。
- タイマー設定ボタン²⁷を押す。

- 3 ↑/↓[23]で「PLAY SET」(再生タイマー)、または、「REC SET」(録音タイマー)を選び、⊕[24]を押す。**

開始時間の「時間」が点滅します。



- 4 ↑/↓[23]で時間 выбирает, ⊕[24]を押す。**

「分」の設定に切り替わり、「分」が点滅します。同様に設定をします。



続けて同様に、終了時刻の設定をします。

- 5 ↑/↓[23]で音源を選び、⊕[24]を押す。**

再生タイマーの場合 :

「CD」→「USB」→「FM」→「AM」の順に表示されます。

録音タイマーの場合 :

「FM」と「AM」が交互に表示されます。



設定後、設定確認が表示されます。

- 6 電源ボタン[5]を押して、本機の電源を切る。**

ちょっと一言

- 再生タイマー開始時間に本体の電源が入ります。音源がCD、MP3/WMAディスクやUSBの場合、再生を開始するまでに少々時間がかかります。録音タイマーは開始時間よりも5分前に電源が入ります。
- タイマーの設定を変更するには、手順をはじめからやり直してください。

ご注意

- 開始時間に電源が入っていると、タイマーは作動しません。
- 再生タイマーの音源にラジオ局を設定した場合は、タイマー設定後にラジオ局を変更すると、タイマー開始時のラジオ局も変更されます。ご注意ください。

- 録音タイマーで設定できる録音時間は、9時間までです。
- 外部入力機器やBLUETOOTH接続の再生タイマーの設定はできません。
- 再生タイマー／録音タイマーの設定中に無操作の状態が65秒間続くと、タイマー設定モードが解除されます。

再生タイマーと録音タイマーを切り替えるには

- 1 タイマー設定ボタン[27]を押す。**

- 2 ↑/↓[23]で「SELECT」を選び、⊕[24]を押す。**

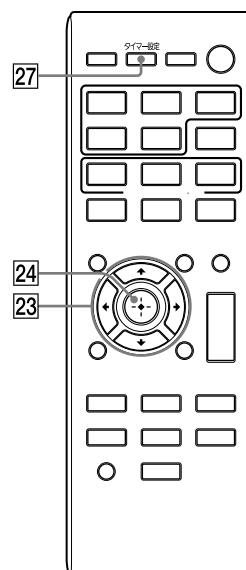
- 3 ↑/↓[23]で「PLAY SEL」(再生タイマー)または「REC SEL」(録音タイマー)を選び、⊕[24]を押す。**

選択したタイマーが有効になり、設定が表示されます。

録音タイマー中に録音を中止するには

- ボタン[20]を押します。**

タイマーを中止するには



- 1 タイマー設定[27]ボタンを押す。**

2 ↑/↓[23]で「SELECT」を選び、⊕[24]を押す。

3 ↑/↓[23]で「OFF」(オフ)を選び、⊕[24]を押す。

タイマーが中止になります。

ちょっと一言

- 再生タイマーを設定すると、設定した時刻に毎日タイマーがスタートします。再生タイマーを中止したい場合は、「OFF」に設定してください。

- 録音タイマーは、1回のみ有効です。録音を開始する時刻を設定したい場合は、毎回録音タイマーを設定してください。

使用上のご注意・主な仕様

使用上のご注意

再生できるディスク

- 音楽用CD-DAディスク
- CD-R/CD-RW (CD-DAトラックまたはMP3/WMAファイルの音楽データ)

データのないCD-R/CD-RWディスクを使用しないでください。ディスクにダメージを与えるおそれがあります。

再生できないディスク

- CD-ROM
- 音楽CDの規格に準拠していない形式で記録されたCD-RおよびCD-RWディスク、ISO9660 Level 1/Level 2またはJolietのフォーマットに準拠しないCD-RおよびCD-RWディスク
- マルチセッション方式で記録して、セッションクローズ処理をしていないCD-RおよびCD-RWディスク
- 記録品質の悪いCD-RおよびCD-RWディスク、傷、汚れのあるCD-RおよびCD-RWディスク、互換性のないレコーダーで記録したCD-RおよびCD-RWディスク
- 書き込み用ソフトウェアやレコーダーによる「ファイナライズ処理」が正常に終了していないCD-RおよびCD-RWディスク
- MP3形式(MPEG 1 Audio Layer-3) / WMA形式以外のフォーマットのオーディオファイルが記録されたCD-RおよびCD-RWディスク
- 8 cm CD
- 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- 中古ディスクやレンタルディスクで、セロハンテープやレンタルディスクの

ラベルなどの接着剤がはみ出したり、はがしたあとのあるディスク

- 盤面印刷で作成したラベルのインクが乾いていないディスク

- DualDisc

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

CD-DAディスクの取り扱い

- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。
- 市販のCDレンズ用クリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

設置時の注意

- ぐらついた台の上や不安定な場所、振動する場所、ほこりの多い所、直射日光が当たる場所、湿度が高い所、湿気の多い所、風通しの悪い場所、極端に寒い所などには、本機を設置しないでください。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本機を設置すると、変色、染みなどが残ることがあります。
- 本機を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります(結露)。正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることができます。

るので、本機を使わないときは、ディスクを取り出してください。結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約1時間放置し、再び電源を入れ直してください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

使用時の放熱について

- 本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますので、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側面、底面が熱くなることがあります。このようなときは、火傷などのけがの原因となるため、キャビネットなどに触れないでください。

テレビの色むらについて

本機のスピーカーは防磁型ではありません。そのため、本機のスピーカーをテレビのそばで使うと、テレビ画面に色むらが起ります。テレビから離してお使いください。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15~30分後に再び電源を入れてください。それでも色むらが残る場合は、本機のスピーカーをさらにテレビから離してください。

お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので、使わないでください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

対応機器とバージョン

ウォークマン®

動作確認済み機種(2014年9月現在)

最新の対応機種については、下記ホームページの機種別サポートをご覧ください。

[http://www.sony.jp/support/
netjuke/](http://www.sony.jp/support/netjuke/)

シリーズ	機種名
	NW-ZX1
Fシリーズ	NW-F805/F806/F807 NW-F805K/F806K NW-F805BT NW-F807/S NW-F885/F886/F887
	NW-S764/S765/S766 NW-S764K/S765K NW-S764BT
Sシリーズ	NW-S774/S775 NW-S774K/S775K NW-S774BT NW-S774/WI NW-S774K/WI
	NW-S784/S785/S786 NW-S785K/S786K
Eシリーズ	NW-E062/E063 NW-E062K/E063K NW-E083 NW-E083K
Mシリーズ	NW-M505
Wシリーズ	NW-W273 NW-W274S NW-WH303
Zシリーズ	NW-Z1050/Z1060/ Z1070/Z1070/W
Aシリーズ	NW-A865/A866/A867

ご注意

- 対応機種以外のウォークマン®は使用しないでください。対応機種以外の機種の動作は保証しておりません。
- ウォークマン®をフォーマットするときは、ウォークマン®本体の機能(メモリーの初期化機能)を使ってフォーマットしてください。他の方法でフォーマットした場合、本機からの録音が行えないなどの不具合が発生するおそれがあります。詳しくは、ウォークマン®の取扱説明書をご覧ください。
- 本機はウォークマン®の動作のすべてを保証するものではありません。
- お使いのウォークマン®の機種によっては、本機の操作に対する反応が遅れる場合があります。

USB機器

最新の対応機種については、下記ホームページの「他機器との接続情報」をご覧ください。
<http://www.sony.co.jp/systemstereo-support/>

BLUETOOTH無線技術について

BLUETOOTH® 無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使いかたですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。

無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

BLUETOOTH標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

BLUETOOTH機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したもので、本機が対応しているBLUETOOTHのバージョンとプロファイルについて詳しくは、「主な仕様」(46ページ)をご覧ください。

ご注意

- BLUETOOTH機能を使うには、相手側のBLUETOOTH機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、BLUETOOTH機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- BLUETOOTH無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。

通信有効範囲

見通し距離で約10 m以内で使用してください。
以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- BLUETOOTH接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他の電磁波が発生している場所

他機器からの影響

BLUETOOTH機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本機とBLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
- 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響

BLUETOOTH 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。

- 病院内／電車内／航空機内
- 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- 本機は、BLUETOOTH 無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティーが充分でない場合があります。BLUETOOTH無線通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH 技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本機と接続するBLUETOOTH機器は、BLUETOOTH SIGの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、BLUETOOTH標準規格に適合していても、BLUETOOTH機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入り、音が途切れたりすることがあります。

BLUETOOTH機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」ととの間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書(裏表紙)をご覧ください。

2.4 F H 1

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

故障かな？と思ったら

本機を使用中にトラブルが発生した場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてください。メッセージ一覧(44ページ)も合わせてご覧ください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1 本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。

本書の手順の中にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。



手順2 「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる

<http://www.sony.jp/support/netjuke/>で調べる。

最新のサポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。



手順3 それでもトラブルが解決しないときは

ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。



ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：CMT-X3CD
- USB機器：モデル名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：
- 故障したときに再生していた音源：
- お買い上げ店：
- ディスク：ディスク名
- ウォーターマン®：モデル名(「対応機器とバージョン」(35ページ)から選択)

「PROTECT」が表示されているときは

すぐに電源プラグを抜いて、交流100V以外のコンセントに接続していないかどうか確認してください。

異常がなければ、再度電源プラグをコンセントにつなぎ、電源を入れてください。それでもトラブルが解決しないときは、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。

共通

電源が入らない。

- 電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

本機が突然スタンバイモードに移行してしまう。

- 本機のオートスタンバイ機能によって、無操作または無音の状態が約15分経過すると自動的にスタンバイモードに移行します。詳しくは、「オートスタンバイ機能を設定する」(29ページ)をご覧ください。

時計設定や再生／録音タイマーの操作が突然キャンセルされる。

- 無操作の時間が約65秒経過すると、時計設定や再生／録音タイマーの操作は自動的にキャンセルされます。はじめから操作をやり直してください。

音が出ない。

- 本機の音量を上げてください。
- AUDIO IN (外部入力)端子**B**に外部入力機器を正しく接続し、本機のファンクションを外部入力(AUDIO IN)に切り換えてください。
- 一時的にラジオ局が放送を中止している場合があります。
- 付属のスピーカーを接続してください。

ブーンという音がする、ノイズがひどい。

- テレビやビデオなどのノイズの原因になりやすい機器から本機を離して設置してください。
- 電源プラグを別のコンセントに接続してみてください。
- 別売りのノイズフィルター付き電源タップの使用をおすすめします。ノイズが低減できる場合があります。

リモコンで操作できない。

- リモコンと本体の間の障害物を取り除き、本体を蛍光灯から離して設置してください。
- リモコンを本体のリモコン受光部に向けてください。
- リモコンを本体に近づけて操作してください。
- リモコンの電池を新しいものに交換してください。

CD-DA/MP3/WMAディスク

表示窓に「LOCKED」が表示され、ディスクスロットからディスクを取り出せない。

- お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

ディスクやファイルを再生できない。

- 「ファイナライズ処理」が行われていないディスク(書き込み済みのCD-RやCD-RWで、さらに書き込みが可能な状態のディスク)が入っています。

音飛びする、再生が始まらない。

- ディスクが汚れている、またはディスクに傷がついている。汚れの場合は、拭き取ってください。
- 振動のない場所(安定した台の上など)に本機を設置してください。

再生が1曲目から始まらない。

- シャッフル再生やプログラム再生になっていないか確認してください(14ページ)。

再生が始まるまでに時間がかかる。

- 次のような場合、ディスクの再生が始まることまでにしばらく時間がかかることがあります。
 - ディスク上のファイル構造が極端に複雑になっている。
 - マルチセッション形式で記録したディスク。
 - フォルダ数が多いディスク。

ウォークマン® / “ポケットビット”

対応するウォークマン®については、「対応機器とバージョン」(35ページ)をご覧ください。

録音が始まらない。

- 次のような原因が考えられます。
 - ウォークマン® / “ポケットビット”に空き容量がない。
 - 録音可能なファイルやフォルダ数が上限に達している。

録音が完了前に停止してしまう。

- 次のような原因が考えられます。
 - ウォークマン® / “ポケットビット”に空き容量がない。
 - 録音可能なファイルやフォルダ数が上限に達している。
- 本機の電源とウォークマン®の電源を入れ直してから録音をやり直してください。

録音に失敗する。

- 対応機種以外のウォークマン® / “ポケットビット”を使っている。
- 本機の電源とウォークマン®の電源を入れ直してから録音をやり直してください。

- 録音中に、本機からウォークマン® / “ポケットビット”をはずした。録音中にこのような操作を行うと、曲の途中まで録音された不完全なファイルがウォークマン® / “ポケットビット”に残る場合があります。不完全に録音されたファイルをウォークマン® / “ポケットビット”から削除し(27ページ)、録音をやり直してください。詳しくは、ウォークマン® / “ポケットビット”的取扱説明書をご覧ください。それでも録音に失敗する場合は、ウォークマン® / “ポケットビット”的故障の可能性があります。お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

- ウォークマン® / “ポケットビット”への録音や消去を多く繰り返すと、ウォークマン® / “ポケットビット”内部のファイル構造の断片化によって、録音動作に必要な連続した空き容量が確保できなくなり、録音に失敗することがあります。このような場合には、ウォークマン® / “ポケットビット”的不要データを削除するなどして空き容量を確保してください。詳しくは、ウォークマン® / “ポケットビット”的取扱説明書をご覧ください。それでも録音に失敗する場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

ウォークマン® / “ポケットビット”からファイルやフォルダを削除できない。

- 削除中に、本機からウォークマン® / “ポケットビット”をはずした、またはウォークマン®の電源を「切」にした。削除中にこのような操作を行うと、正常に削除が行われません。削除をやり直してください。ウォークマン® / “ポケットビット”的取扱説明書も合わせてご覧ください。それでも削除できない場合は、ウォークマン® / “ポケットビット”的故障の可能性があります。

お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

USB機器

対応するUSB機器については、「対応機器とバージョン」(35ページ)をご覧ください。

対応していないUSB機器を接続している。

- 次のような問題が発生することがあります。
 - USB機器が認識されない。
 - ファイルまたはフォルダの名前が表示されない。
 - 再生できない。
 - 音がとぶ。
 - ノイズが出る。
 - 歪んだ音が出力される。

音が出ない。

- USB機器が正しく接続されていません。本機の電源を切り、USB機器を接続し直してください。

ノイズ・音飛びが発生する、音が歪む。

- 対応していないUSB機器を接続しています。互換性のあるUSB機器を接続してください。
- 本機の電源を切りUSB機器を接続し直したあと、本機の電源を入れてください。
- 音源そのものにノイズや歪みがないか確認してください。ノイズは転送の過程で混入する場合もあります。このようなときは、ファイルを削除してからもう一度転送してください。

長時間「SEARCH」が表示される。または再生が始まるまで時間がかかる。

- 次のような場合、USB機器の読み込みに時間がかかることがあります。
 - USB機器に保存されているファイルやフォルダ数が多い。
 - USB機器内のファイル構造が極端に複雑になっている。

– メモリー容量が大きすぎる。
– USB機器内部のメモリが壊れています。

曲名やフォルダ名(アルバム名)が正しく表示されない。

- USB機器に保存されているデータが破損している可能性があります。もう一度転送をやり直してください。
- 本機で表示できる文字コードは次のとおりです。
 - 大文字(A～Z)。
 - 数字(0～9)。
 - 記号(<>*+,[_])。他の文字は「_」で表示されます。

USB機器が認識されない。

- 本機の電源を切りUSB機器を接続し直したあと、本機の電源を入れてください。
- 対応していないUSB機器を接続している。
- USB機器が正しく動作しない場合は、USB機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

再生が始まらない。

- 本機の電源を切りUSB機器を接続し直したあと、本機の電源を入れてください。
- 対応していないUSB機器を接続している。

再生が1曲目から始まらない。

- 再生モードがシャッフルなどOFF(ノーマル再生)以外のモードにセットされていないか確認してください。

USB機器が充電されない。

- USB機器がUSB端子Dに正しく接続されているかどうか確認してください。
- 対応していないUSB機器を接続している。

- USB機器を取りはずして、再度接続してください。USB機器の充電状態について詳しくは、USB機器の取扱説明書をご覧ください。

ラジオ

雜音が入る(「STEREO」が点滅する)、または放送が受信できない。

- アンテナを正しく接続してください。
- 受信状態のよい場所や方向を探し、アンテナを設置し直してください。
- アンテナを本体や他のAV機器から離してください。
- 本機の近くにある電気器具の電源を切ってください。
- 以下のことを試してください。
 - コンセントの差し込み口に、本機と他機器の電源プラグを差している場合は、別々の差し込み口に差す。
 - アンテナの向きを変える。

複数の放送局が同時に聞こえる。

- アンテナをコードクリップなどで束ね、長さを調整してください。
- アンテナの場所や方向を調整してアンテナを設置し直してください。

お買い上げ時の状態にリセットするには

「故障かな?と思ったら」の該当項目をチェックしても正常に動作しない場合は、次の手順で本機をお買い上げ時の状態にリセットしてください。

- 1 電源プラグをコンセントから抜き、再度接続して、電源を入れる。
- 2 本体のFUNCTIONボタン①と▲ボタン⑦を「RESET」が表示されるまで5秒間押し続ける。

リセットが完了すると本機が再起動し、「HELLO」が表示されます。

ラジオ局のプリセット設定や時計、タイマーなどの設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。

リセットを行っても正常に動作しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご注意

本機を廃棄したり、他人に譲渡したりするときは、セキュリティ保護のため、必ず本機のリセットを行ってください。

メッセージ一覧

本機の使用中に、次のようなメッセージが表示、または点滅することがあります。

DISC ERR

CD-ROMやDVDディスクなど、再生できないディスクをセットした。

COMPLETE

- FM/AM局のプリセット登録が正常に完了した。
- ウォークマン®／“ポケットビット”の曲、フォルダの削除が完了した。

ERROR

- ウォークマン®／“ポケットビット”の曲やフォルダ(アルバム)の削除に失敗した。
- ウォークマン®／“ポケットビット”的空き容量がない。

FULL

- 録音可能なフォルダ数が上限に達している。
- プログラム登録中に65曲目を登録しようとした。

LOCKED

ディスクスロットがロックされ、ディスクが取り出せない。ソニーの相談窓口にご相談ください。

NO USB

- ウォークマン®／“ポケットビット”が接続されていない状態で、録音ボタンを押した。
- ウォークマン®／“ポケットビット”が接続されていないときに、曲削除ボタンを押した。
- USB機器が接続されていない。または接続したUSB機器を本機から取りはずした。
- USB機器にメモリーカードが挿入されていない。または、メモリーカードを認識していない。

NO DISC

ディスクが入っていない、または本機では認識できないディスクをセットした。

NO STEP

プログラムが登録されていない。

NO FILE

- ウォークマン®／“ポケットビット”に削除可能な曲がない。
- ディスクやUSB機器に本機で再生できるファイルが入っていない。

OVER CURRENT

USB機器を取りはずしたあと本機の電源を切り、再び電源を入れてください。

PLS STOP

ディスクやUSB機器の再生中に再生モードを変えようとした。

SEARCH

USB機器の情報を読み込んでいる。このとき、いくつかのボタンは操作できなくなります。

READING

ディスクの情報を読み込んでいる。このとき、いくつかのボタンは操作できなくなります。

TIME NG

- 再生タイマーや録音タイマーの設定で、開始時刻と終了時刻を同じに設定した。
- 録音時間を9時間以上に設定した。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、またはソニーの相談窓口(裏表紙)にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。

ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力(JEITA¹⁾)

L : 10 W (8 Ω, 1 kHz)
R : 10 W (8 Ω, 1 kHz)

入力／出力端子

AUDIO IN (外部入力)端子

ステレオミニジャック1 V
(47 kΩ)

USB接続端子

USBポート：タイプA、DC 5 V 1.5 A

HEADPHONE (ヘッドホン)端子

ステレオミニジャック8 Ω以上

CD-DA/MP3/WMAディスク

プレーヤー部

形式

コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

レーザーの仕様

放射時間：連続

レーザー出力* : 44.6 μW 未満

* この出力値は、7 mmの開口部にて光学ピックアッププロックの対物レンズ面より200 mmの距離で測定したものです。

周波数特性

20 Hz ~ 20 kHz

SN比

90 dB以上

ダイナミックレンジ

90 dB以上

チューナー部

回路方式

FM/AMチューナー、スーパーhetロダイ

ン方式

受信周波数

FM : 76.0 MHz ~ 95.0 MHz
(100 kHzステップ)
AM : 531 kHz ~ 1,602 kHz
(9 kHzステップ)

アンテナ端子

FMアンテナ、AMループアンテナ

スピーカー部

定格インピーダンス

8 Ω

BLUETOOTH部

通信方式

BLUETOOTH標準規格Ver.4.0

出力

BLUETOOTH標準規格Power Class 2

最大通信距離

見通し距離約10 m²⁾

使用周波数帯域

2.4 GHz 帯(2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)

変調方式

FHSS

対応BLUETOOTHプロファイル³⁾

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)

対応コンテンツ保護

SCMS-T方式

対応コーデック

SBC (Sub Band Codec)

伝送帯域(A2DP)

20 Hz ~ 20,000 Hz (44.1 kHzサンプリ

ング時)

その他

電源

AC 100 V、50 Hz/60 Hz

消費電力

28 W (通常動作時(JEITA¹⁾))

最大外形寸法(幅×高さ×奥行き、最大突起部含む)

約 340 mm × 173 mm × 90 mm

質量

約 2.3 kg

¹⁾ JEITA (電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

²⁾ 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わることがあります。

³⁾ BLUETOOTH プロファイルとは、BLUETOOTH 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

付属品

リモコン(RM-AMU213)(1) / FMアンテナ(1) / AMアンテナ(1) / 取扱説明書(本書)(1) / 保証書(1) / ユーザー登録カード(1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

待機時消費電力：0.5 W (BLUETOOTHスタンバイモード「OFF」時)
待機時消費電力：5.9 W (BLUETOOTHスタンバイモード「ON」時)

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9577

修理相談窓口

フリーダイヤル 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

「306」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



Bluetooth®



* 4 5 4 0 1 2 6 0 2 * (1)